

【様式4】

令和5年度飯山満公民館事業計画

1. 地域の状況

飯山満公民館は、JR 東船橋駅の北東で、東葉高速鉄道飯山満駅から徒歩 10 分の高台に位置している。この地域は、市道飯山満七林線を南北からはさむ起伏に富んだ、もとは肥沃な農業地域であり、現在も公民館の近くは畑が広がっている。その周辺では昭和 40 年頃から民間の住宅開発、さらに日本住宅公団の芝山団地の造成によって人口の急増を見た。

平成 8 年、東葉高速鉄道が開通し、付近の区画整理事業が計画された。対象地域は飯山満町・二宮・滝台町・滝台の全域 3.09 ㎢で、令和 4 年 10 月 1 日現在、対象人口は 13,416 世帯、29,144 人である。公民館の立地が管区の北西部に位置するうえ、周辺に住宅が少ないことから集客に課題はあるが、管区には小学校 2 校、中学校 2 校、高等学校 1 校が存在し文教的環境を構成している。また、公民館の北西には取掛西貝塚、周辺には寺院、神社が多く歴史的にも貴重な地域である。

2. 地域の課題

- (1) 公民館区内を飯山満川が流れており、災害に対する懸念が強い地域であるため、地域や学校と連携し、地域の防災意識を高める必要がある。
- (2) 運動機能低下者の割合が高いため、健康寿命の向上を目指した環境づくりが必要と考える。
- (3) 地域の連帯感が強い反面、閉じこもり者の割合が高く、孤立化に対する懸念も高い状況となっている。地域のコミュニティ活動に参加していない人々が参加したくなるような学習機会を提供する。
- (4) 管区には大人が学習する場や趣味、習い事をする場が少ないため、現役世代や子育て中の保護者に、場と機会の提供が求められる。

3. 重点目標

- (1) 地区町会連合会や地域の各学校と協働して住民参加の防災事業を計画・実施することで、防災と共助の意識を高める。
- (2) 市長部局や地域の団体との連携を図り、地域の健康寿命向上の機会の提供に努める。
- (3) 生涯学習コーディネーターや地区社会福祉協議会との連携及び協働に努め、公民館事業の更なる充実と住民の地域活動への参加促進を図る。
- (4) 地域の住民が自分らしくそれぞれの生きがいを持ち、住み慣れた地域で健やかに暮らし続けられるよう交流・生きがいの場となるよう努める。また、学習機会の充実を図り、リカレント教育を推進する。